

J Aやまがた 自己改革実践中！

農業生産の拡大に向けて



野菜ハウス団地



30年4月4日 野菜ハウス団地竣工式



28年7月27日 おいしさ直売所南館店
グランドオープン



30年9月25日 おいしさ直売所落合店
起工式

■ 農業の後継者・新規就農者の育成支援のため整備を進めてきた野菜ハウス団地が平成30年4月に完成し、育成支援事業に取り組んでいます。さらに、果樹（シャインマスカット）ハウス団地も整備中で平成31年4月より利用開始予定です。

■ TACT・営農センターが連携し、設備投資等の資金需要や補助金に関する的確なアドバイスにより、農業関連資金に関するノウハウが徐々に効果を表してきています。

■ JAやまがた管内産のPRのため、山形県内において青果物消費宣伝会を実施、また山形市農産物消費宣伝トップセールス（京浜地区）、オール山形「さくらんぼ」トップセールス（大田市場）、JAやまがたデラウェア消費宣伝会（東北・京浜・中京地区）等、全国に地場産の農産物PRを積極的に行ってています。

農業所得向上に向けて

■ 平成28年7月に直売所を拡大（南館店リニューアル）したことによって、販売量が拡大しています。また、消費者の“安全・安心”な地元農産物の購買意欲と生産者の農産物生産意欲が高まっており、地産地消への取り組みを含め生産者と消費者の双方に強いつながりが出ています。さらなるつながりを作り上げるため、山形市落合町に平成31年4月、新たな直売所がオープン予定です。

■ 米穀については、全農委託販売分の35%相当量をJA独自販売に切替して、JAやまがた米の有利販売に取り組んでいます。

■ 青果物については、出荷箱等や規格を統一して、市場に対する販売ロットを拡大することによって、交渉力を高め有利販売につながっています。

地域活性化・地域貢献

■ 地域と農家組合員のふれあいの場として、支店や営農施設でふれあい企画（農協祭り）を毎年開催しています。

■ 金融移動店舗車を運行しています。

オンラインで結ばれているので、災害時の緊急金融店舗としても活躍が期待されています。

■ JA共済交通事故未然防止対策活動として、2市2町へカーブミラーを毎年贈呈しています。また、JA共済アンパンマン交通安全キャラバン、管内高校を中心に交通安全教室を開催しています。

■ 学校給食への地元食材提供など、地産地消への取り組みに積極的に参加しています。

■ 命、食べ物の大切さ、それを育む農業や自然の大切さを伝えるために「わんぱくあぐりスクール」を毎年実施しています。



金融移動店舗

JAグループでは、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標とする「自己改革」に取り組んでいます。JAやまがたも、農業のさらなる成長を盛り上げていくため自己改革を進めていきます！ JAやまがたの自己改革の取り組みや成果の一部を紹介します。